

日本共産党 和歌山市公議員 ひめだ高志二ノエ

No.1062

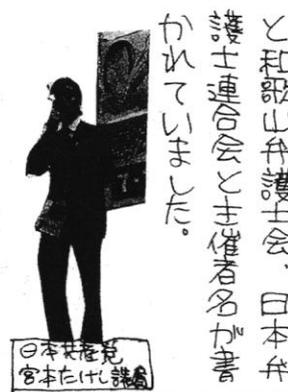
15.7.15

次は金米、錦織の活躍期待

テニスのウインブルドン選手権は、男子がジョコビッチ(セルビア)、女子はセリーナ(アメリカ)が優勝。ついに深夜の地上波放送を見て寝不足になるのも、この季節の風物詩?!。台風1号が通り過ぎれば梅雨が明けそうです。台風直撃は避けられたいとしても被害は最小限にと願うばかりです。

憲法を守る「安保法制」反対!!

7・12和歌山大集会の舞と和歌山弁護士会、日本弁護士連合会と主催者名が書かれています。



日本共産党 宮本たけし議員

フツの 人々



私、ひめだ高志と 松坂みち子 議員

日差しが強くなりつづける青空の下、日本共産党の宮本たけし衆院議員は、「安倍政権のファシズム政策を許すわけにはいかない。力を合わせてがんばろう」と呼びかけました。

今週の フツの 人々

(その8)

2500人の県民パワー

7月12日(日)和歌山弁護士会が和歌山城西の丸広場で開いた「憲法違反の「安保法制」に反対する和歌山大集会&パレード」に手ぶらで行くのもどうかと、いつものように当日に思い立ち、色画用紙や両面テープを買ってきて、午前中にプラカードを作りました。15時からの集会を見かけたと思いながらも、完成したときは集会にちやうど

のがうれしい」と言ったのが印象的でした。キリスト教の修道女の方や長年自民党を支持してきたという年配の女性など、それぞれ思いが語られました。

パレードを主催する母からのたどたどしいシヤム・ヒコルも、ひとつの愛嬌でしたが、長い集会のおと長いパレードは正直、少しくたびれました。



ひめだ高志

間に合う時間になっていました。片面は黒地に黄色で「なんちゃーでも戦争はイヤ」と、片面は青地に赤で「憲法を守り命を守れ」と書きました。舞台からの話は共産党の宮本たけし衆院議員以外は、弁護士会の木村会長をはじめ思えるのも聞くのも初めこの入ばかりでした。県下各地から2500人。パレードが始まって道路に出るのに30分以上かかりました。

市職員採用試験 受験案内

◇2016年4月1日採用予定

採用予定数	試験区分	職種
2人	Ⅲ種	事務職
1		土木職
1	Ⅰ種	獣医師
1		社会福祉士
1		臨床心理士
1		保健師
10	Ⅱ種	保育士
1		手話通訳員
1	学芸員 [日本近代史]	
3	消防職 Ⅲ種	
2	身体障害者を対象とした行政職事務職	
2	技能事務職	環境整備員

●受付期間
 持参・8月10日(日)・11日(月)
 郵送 8月12日(火)迄印有効

●第1次試験日・会場
 9月20日(日)
 和歌山県立西和中学校

日本共産党

軍事費増の安倍政権
 13日の衆院安保法制特別委員会では日本共産党の宮本徹議員は、戦争法案で軍事費が増えるのではないかと国民の懸念を取り上げ、軍事費の「ツ

ツ」が急増している実態を明らかにしました。宮本議員は安倍首相が戦争法案閣議決定後の会見(5月14日)で「安倍内閣で増やしたのは消費税増税分を除けば0.8%だけだ」と述べたことを批判。財務省主計局の可部次長は、高額兵器購入の際に将来に「ツ」をまわす「後年度負担」が10年間で1兆3807億円増え(46.3%増)、このうち1兆3277億円(35.1%増)が安倍政権の2年間で増えていることを明らかにしました。

購入する兵器は、P-1哨戒機やオスプレイなど地球規模で自衛隊を活動させるためのものです。

戦後70年特別企画
前進座公演
南の島に雪が降る

加東大介・原作 瀬戸部 脚本
 西川信廣・演出
 死線をさまよふ兵士たち、命がけで
 艾居を創り、命がけで艾居を見守
 ういのような本場の話

7月23日(木) 14~ 市民会館大ホール
 (一般) 4800円 4700円あります!!

●試験に関する問い合わせ
 和歌山県人事委員会事務局
 435-1371
 (〒番丁の番地・朝日ビルディング2階)まで。

潮流

(2015.7.14 時評)

「政府が少子化対策なんて言っても、妊娠すれば会社で嫌みを見るからさ...。まるで産むやつが悪いと言われている気分です」▼保育園を探すが保活中の女性から何度聞いた声です。不安定雇用や低賃金、長時間労働など子育て環境は厳しい。昨年の新生児は過去最少の約100万人で40年前の半分でした▼戦争法案を審議中の国会で「少子化が進む中、どのように自衛隊員を確保するのか」という質問を耳にしました。今年度に新採用された自衛官と同じ数を25年後に採用するには、新生児の30人に1人が入隊する計算になると述べ、自衛隊の進学金制度は賞金制の拡大の検討も必要になるのではないかと指摘していました▼自衛隊に入る意思がある大学(院)生への奨学金制度。卒業後、一定期間自衛隊に勤務すれば返済不要です。すでにアメリカでは貧困家庭の若者に奨学金や経済援助を持ちかけ、イラクなどの戦地に送るやり方が常態化していると聞きます▼本紙既報のように自衛隊の海外任務の拡大とともに、防衛大学校卒業生の入隊辞退率が上昇しています。今後いっそう志願者は減り、退職者が増えるのではないかと、貧困に苦しむ若者を「安定した仕事」「奨学金がある」と勧誘して志願させる「経済的徴兵制」の強化も現実味を帯びてきます▼政府・与党が今週にも戦争法案の衆院通過を狙うも、憲法を定める運動が、さうなまわっています。戦後70年の夏、命と平和と憲法を守るための闘い、正念場です。

赤旗 日刊紙
 3407円/月